

디자이너는  
이름을 지었지만

천사를  
만났다

이케마츠 소스케  
최희서  
오다기리 조  
김민재  
김예은  
각본·감독  
이시이유야

주최: 문화체육관광부  
주관: 한국문화재단, 문화체육관광부  
제작: 에이지엔터테인먼트, The Asian Angel Film Partners  
제작: 에이지엔터테인먼트, 한국문화재단  
제작: 에이지엔터테인먼트, 한국문화재단  
제작: 에이지엔터테인먼트, 한국문화재단  
제작: 에이지엔터테인먼트, 한국문화재단

2021 Coming Soon

# アジアの天使

傷だらけの人生。  
でも、自由だ。

池松壮亮 チェ・ヒソ オダギリジョー  
キム・ミンジェ キム・이예운 佐藤凌

脚本・監督:石井裕也

エグゼクティブプロデューサー:飯田雅裕 プロデューサー:永井拓郎, パク・ジョンボム, 오·지은 撮影監督:キム・ジョンソン 音楽:パク・イニョン  
製作:『アジアの天使』フィルムパートナーズ (朝日新聞社, RIKIプロジェクト, D.O.CINEMA, 北海道文化放送, UNITED PRODUCTIONS, ひかりTV, カラーバード)  
制作プロダクション:RIKIプロジェクト, SECONDWIND FILM 配給・宣伝:クロックワークス

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業)独立行政法人日本芸術文化振興会 SFM GFC

© 2021 The Asian Angel Film Partners

『映画 夜空はいつでも最高密度の青色だ』『生きちゃった』『茜色に焼かれる』

## オール韓国ロケ! 石井裕也監督が韓国チームとタッグを組んだ意欲作。

『舟を編む』(13)で日本アカデミー賞監督賞を最年少で受賞、『映画 夜空はいつでも最高密度の青色だ』(17)でアジア・フィルム・アワードの最優秀監督賞を受賞した石井裕也監督の最新作。近年の『生きちゃった』(20)『茜色に焼かれる』(21)でも現代社会や時代と格闘してきた石井監督が、あらためて初心に戻り、これまでの経験値に頼らずにオール韓国ロケを敢行。監督の親友でもある韓国のパク・

ジョンボム監督がプロデューサーを務め、日韓関係の悪化、コロナ禍などの様々な困難を乗り越え、誰も見たことのない新たな“アジアの家族映画”を完成させた。言葉と文化の壁から生まれる噛み合わない会話やコミュニケーションのすれ違いを、時にコミカルな掛け合いとして演出し、相互理解への高いハードルを描く中にも心地良いユーモアの流れる空気感を創り出している。

# 優しさとユーモアに満ちた、誰も見たことのない「アジアの家族映画」。



池松壮亮 チェ・ヒソ オダギリジョー  
キム・ミンジェ キム・イェウン 佐藤凌

脚本・監督:石井裕也

製作:五老剛、竹内力、ハン・ドンヒ、浜田稔、森田篤、永田勝美、宮前泰志 エグゼクティブプロデューサー:飯田雅裕 プロデューサー:永井拓郎、パク・ジョンボム、オ・ジエン 共同プロデューサー:神保友香  
音楽:バク・イニョン 撮影監督:キム・ジョンソン 助監督:藤本信介 美術:渡辺大智 韓国美術:イ・アヨン 録音:チェ・ジェウォン スタylist&ヘアメイク:ナム・グス 編集:ジョ・ヒョンジュ、岡崎正弥、石井裕也  
VFXスーパーバイザー:赤羽智史 製作:『アジアの天使』フィルムパートナーズ(朝日新聞社、RIKIプロジェクト、D.O.CINEMA、北海道文化放送、UNITED PRODUCTIONS、みからTV、カラーバード)  
制作プロダクション:RIKIプロジェクト、SECONDWIND FILM 配給・宣伝:クロックワークス  
助成:文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業)独立行政法人日本芸術文化振興会

© 2021 The Asian Angel Film Partners

## 「言葉」「国籍」「価値観」を超えた、人と人のつながり。ボロボロになった二つの家族が寄り添うとき、ある“奇跡”が舞い降りる…。

8歳のひとり息子の学(佐藤凌)を持つ小説家の青木剛(池松壮亮)は、病気で妻を亡くし、疎遠になっていた兄(オダギリジョー)が住むソウルへ渡った。ほとんど韓国語も話せない中、自由奔放な兄の言うがまま怪しい化粧品の輸入販売を手伝う羽目に。

元・人気アイドルのソル(チェ・ヒソ)は、自分の歌いたい歌を歌えずに悩んでいたが、亡くなった父母の代わりに、兄・ジョンウ(キム・ミンジェ)と喘息持ちの妹・ボム(キム・イェウン)を養うため、細々と芸能活動を続けていた。

しかし、その時彼らはまだ知らない。

事業に失敗した青木と兄、学たちと、資本主義社会に弾かれたソルと兄、妹たち——どん底に落ちた日本と韓国の二つの家族が共に運命を歩む時、ある“奇跡”を目の当たりにすることを…。

